



～今の特集～
小学校の今

つるせ西だより

第212号（5月号）2026.5.1

編集：鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行：富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬 3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 82

いざという時の訓練を

上沢3丁目町会では、3月14日（土）に消防訓練を実施しました。入間東部地区事務組合消防本部2人の指導により訓練用消火器を使つての消火訓練、防災ビデオ鑑賞や講話が行われました。いざという時に慌てないように消火器の使い方や初期消火の知識の習得、地域の人たちとコミュニケーションをとるためにもぜひ地域の消火訓練に参加してみてもいかがでしょうか。

講話を受けて、日ごろから地震などの災害を想定して家具の固定や水・食料の備え、避難経路の確認など見直しをしなければいけません。

（撮影・文／井之川）



いざという時のため、消火器の使い方を実践しています



消防隊員からの講話

まちひとウォッチング②

鶴瀬西交流センター紙芝居ボランティア

村岡 佳寿子さん

紙芝居で地域とつながっているのを実感しています。私たちは鶴瀬西交流センターで主催された紙芝居講座に参加したメンバーで立ち上げた団体です。

今年で13年目になり、メンバーは12人です。児童館や保育所、高齢者施設また地域イベント等で依頼いただき、紙芝居を通じて地域の皆様と楽しい時間を共有させていただいています。

作品を紙芝居舞台に入れて扉を開いた途端に、観客の皆様と紙芝居の世界へタイムスリップする感覚があります。ケーキを分け合い『いただきます』と食べた時、実際には何もないのに口の中に甘い味が広がるように感じます。一緒に声を出し、笑い、泣き共感する。それも初めて会った人たちでその空間を作り上げていきます。同じ紙芝居を演じてても全く違う世界になることに魅せられ紙芝居の登場人物に心を寄せて、その人らしく演じられるよう、定例会や実演を通して学んでいます。

メンバーは随時募集中です。ご一緒に紙芝居で地域に元気を届けましょう。



楽しい紙芝居のはじまり、はじまり～